



真理大学

Aletheia University



●学部学生 12,231人 ●大学院生 191人 ●教職員 414人
ホームページ <http://www.au.edu.tw/>

交流協定締結年月日：2007年6月11日 主管学部：経済学部



海外研修了式(2019年)と学長室のある紅楼

国際交流の特色

真理大学は、西洋人が北部台湾の拠点とした土地、淡水にある。キリスト教長老教会派の大学で、総合大学化したのは1999年であるが、カナダ人宣教師マッケイ博士が1882年に開いた、台湾で最も古い西洋式教育施設「牛津學堂」を起源としている。学内には国家史跡の牛津學堂、大学の隣にはこれも国家史跡の紅毛城と、歴史のある街にふさわしい落ち着いた高台に位置している。淡水は新北市に属する街だが、台北市を南北に縦断する地下鉄淡水線の北の終点で、台北中心部まで40分程度と交通の便も良い。また南部台南に資料館を持つ。人文社会系8学部と大学院がある。

交流実績（平成30年度～令和2年度）

年度	H30	H31	R2
受入・派遣			
学生の受入	6	8	4
学生の派遣	19	15	0
研究者・職員の受入	2	0	0
研究者・職員の派遣	2	2	0
オンライン交流参加者（本学）			0
オンライン交流参加者（相手機関）			0

教員からの声

淡水河を望む高台の美しいキャンパスは観光ガイドにも紹介されるほどで、学内に国家史跡の建築が点在するほか、教会内には台湾で2番目という長大なパイプを持つパイプオルガンが設置されている。経済学部の「海外研修」で定期的に学生がここで学習し、また毎年香川大学に学生が交換留学に派遣され、大学間の関係も良好である。

また教員の相互訪問もあり、経済学部の高橋教授は2014年以降張良澤名誉教授と、台湾関係文書の校訂整理翻訳に取り組んでいて、直近の成果も、国立台湾文学館から2021年に公刊された。

経済学部教授 高橋明郎

学生からの声

真理大学への留学では、語学だけでなくミクロマクロ経済学といった経済に関するものも受講しました。また経済学科は地元の銀行との合同でのボランティア活動や日本の大学との交流会といった授業外の活動が多くあります。語学の授業は毎週pptでの発表をする機会があり、これを通して語学能力の向上や中国語を話すことへの自信ができました。

大学の近くには、淡水老街という台湾の古い街並みや自然があり、とてもリラックスすることができます。

休みの日は、友人とビリヤードをしたり夜市に行って様々な台湾料理を食べました。寮での生活は、自分以外に日本人がいなかったので自然と生活で中国語を使うようになり、またその生活の中で文化の違いや新しい価値観に出会うことができました。

三木孔太（2016年度入学）